

経営概況

2016年3月期 第1四半期の業績

当第1四半期連結累計期間(2015年4~6月)におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し、個人消費に持ち直しの兆しがみられるなど、国内の景気は緩やかな回復基調にありました。一方、海外情勢においては、ギリシャ債務問題を巡る欧州における金融不安や中国の経済成長率の鈍化が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、タブレットの需要拡大や光回線とのセット割引サービスの導入等により、販売は堅調に推移いたしました。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は103万台と前年同期を上回り、スマートフォンの販売比率は7割強に上昇いたしました。

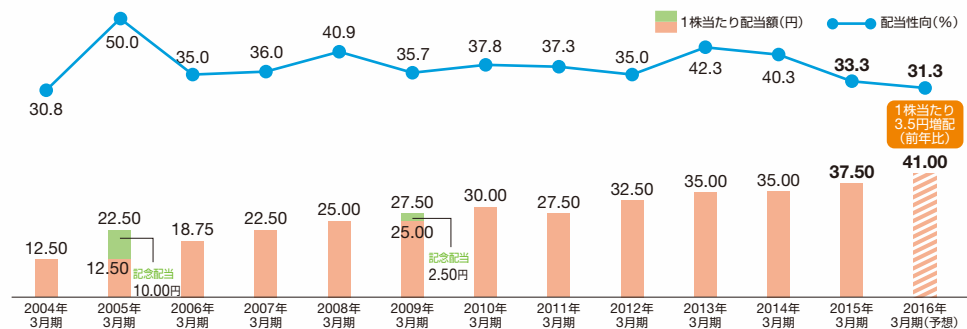
モバイル事業においては、アクセサリ等のスマートフォン関連商材やタブレットの提案を強化したことに加え、前期に引き続き、効率的な店舗運営等の構造改革に取り組ましました。

ソリューション事業においては、企業のスマートデバイス導入を積極的にサポートしたことにより、法人向けの各種ソリューションサービスの販売が増加したことに加え、固定回線系商材の販売も底硬く推移いたしました。

決済サービス事業他においては、ギフトカードの販売が好調に推移したことに加え、海外事業の収益が改善いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,359億36百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益30億62百万円(同21.0%増)、経常利益30億84百万円(同21.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益18億38百万円(同38.5%増)となり、前年同期比で増収増益となりました。

配当の推移

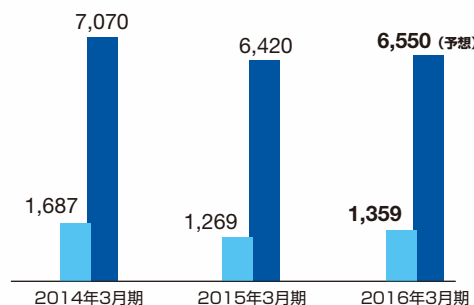


※2012年3月期以前の数値につきましては、2012年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。

第1四半期連結業績ハイライト

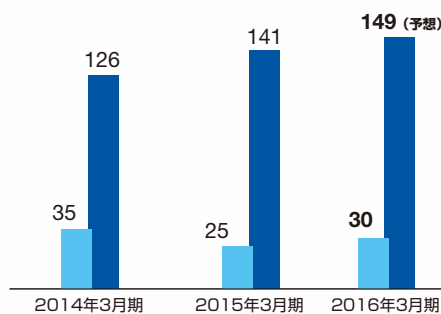
売上高

(億円)



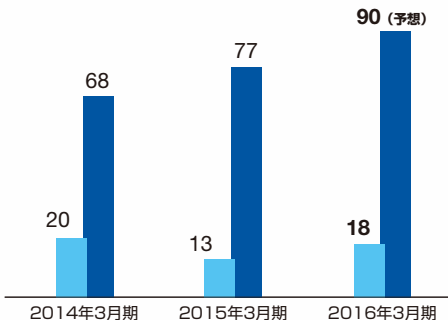
経常利益

(億円)



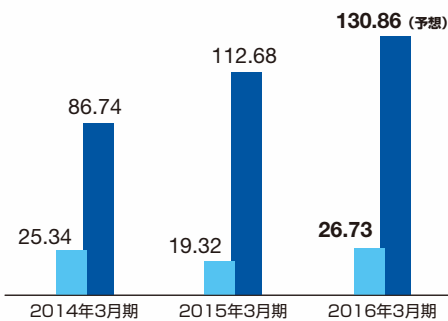
四半期(当期)純利益

(億円)



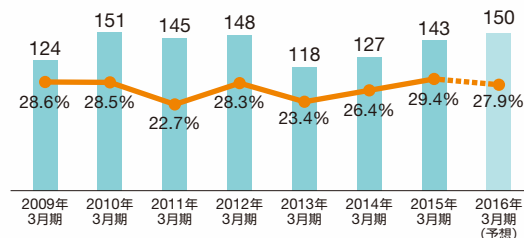
1株当たり四半期(当期)純利益

(円)



ROE・営業利益 推移

営業利益 (億円) ROE(自己資本当期純利益率)



合併以来、高水準のROEと営業利益を維持

2013年8月以降
「JPX日経インデックス400」に採用

※14/3期 一部上場企業の平均ROE：約8.7%
(出所：日本取引所グループ)

JPX日経インデックス400は、日本取引所グループとその傘下の東京証券取引所、および日本経済新聞社が共同で開発し、2014年1月6日から公表が始まった株価指数です。

※2016年3月期(予想)のROEは、2016年3月期における親会社株主に帰属する当期純利益(予想)および自己資本の期中平均(予想)に基づき算出しております。